

枚方市の支援学級について 保護者が思う実態(小学校が主な視点の場合)

- 支援学級在籍の子は、クラス(通常学級の○年○組)が主な居場所であり、一員として、教員も子どもも捉えている。
(「ともに学び、ともに育つ」「ダブルカウント」)
- 朝の会、帰りの会、給食、行事は、すべてクラスで参加し、靴箱もクラスのある場所にある。
- 支援学級の時間数は、学校によって様々だが、その子に応じて柔軟に対応している。
1日1時間～3時間以上(入り込みを含む)
- 時間数で測れない、給食、休み時間、気持ち不安なときや崩れたとき、行事、連絡帳でのサポートなどもある。
- 支援学級での学習内容は、その子に合わせた内容、ペース配分、特性に応じた教え方、を変えて行っている。
- 自立活動は、日々の算数や国語で抜き出した時間に学習にプラスして、その子に応じた内容で取り組まれている。
学習しながら同時並行の場合もある。
- 「入り込み」は、クラスの授業を受ける際のサポートとして数十年前から行われている。
- クラス担任と支援学級の担任が連携してみてくださる。自分の担当ではない支援学級の担任が抜き出した授業を見てくれる、チーム制の学校もある。